ぽぽデイだより　NO.116　令和４年９月号

社会福祉法人　ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前　669-1133　西宮市東山台 1-1(1 階)　TEL０７９７－６２－１１６５

施設長より

去る７月８日、西宮市の法人指導課による、ぽぽデイ開業以来初の指導監査がありました。指導監査とは、所轄の職員が、社会福祉法人等が法律に基づく運営を行っているかどうかを、事業所の現場に出向いて書類やヒヤリング等で状況を確認し、指導（実地指導）を行うものです。そもそも、放課後等デイサービスの指導監査は開業して3年以内に行われると聞いていました。しかし開業当時は県の管轄だったのが、市に移管され、事業所が次々と増える（または減る）状況下で、ようやくうちの番が回ってきたというところです。提示する書類が多く、実地指導となると、「面倒だな」という気持ちが先立ちますが、法律に基づく実務の指導は、実は大変ありがたいものです。先日その結果が文書で届きました。「是正または改善について報告が必要な事項」は、なし。とのこと。つまり、法に基づいてほぼ適正に運営されているということです。もちろん、初めての監査なので、法律や通知の解釈が不十分で「是正または改善について報告が必要のない事項」の指摘はいくつかあります。それを指摘して説明してもらえるのが、前述の「ありがたい」につながります。適切な運営を行っていくために、それらの指摘事項を是正し、みなさまにも改善点を報告させていただきます。

なお、この指導の中で褒められたことがあります。まずは、他の法人よりも指摘事項が少ないと言われたこと。記録が丁寧であると言われたこと（以前は支援計画の承認印を後からいただく、というようなこともあったようですが…）。外部から講師を招聘して自主的に行っている研修が多く、とても良いと言われたこと。職員体制を見られて、「本当にこんなに手厚く配置されているんですね!?」と驚かれたこと。担当者間の記録や意見を反映させて、年 ２ 回にこだわらず必要な時に支援計画を訂正していること、などです。手前味噌ですが、現場の職員が真摯に職務を全うしてくれているお陰と感謝しています。

ただし、法人指導課の方が驚かれたように、手厚い職員体制が、現在も赤字体質から脱却できていない要因にもなっています。こちらの方は、法人が取り組む課題として残されたままですが、職員の生活や心情にも配慮しながら、員数だけに頼らない支援の方法を模索しているところです。また、児童発達支援への通所希望の問い合わせもありますが、定員10人を超過しているため断らざるを得ないことも心苦しいことです。

「ぽぽデイの運営を共に考える会」においでいただいた保護者のみなさまや、常日頃、運営に関心を寄せご心配いただいているみなさまに、このような課題も含め4月以降の新体制下での現状をお知らせしなければ思っておりました。まずは、指導監査の結果共に簡単にご報告させていただきます。なお、10月中旬ごろを目途に、改めて現状をご説明する会を開催したいと考えております。決定次第お知らせいたしますので、その節は、どうぞよろしくご参加ください。

児童発達支援 いちご組

『おまつり』という設定で、ごっこあそびを子ども達も大人もみんなで楽しみました。たこ焼き・りんご飴の食べ物コーナー、釣り・お手玉入れのゲームコーナーです。後半は子ども達がお店屋さんです。ペットボトルのふたをコインに見立てました。食べ物は『2コイン』を設定し、大人:「『3』わたします！」、子ども:「オツリハ 『1』 デス」と、そんなやり取りが見られました。ゲームコーナーに大人が向かうと、「コウヤッテ ○○シテ～ 『○』コインデス」と、丁寧に説明する姿、上手くいかないと「大丈夫 モウ
1カイ」と優しい気持ちを伝えてくれる姿…、一場面をお伝えしましたが、ごっこあそびの中で、言葉のやり取り、相手の様子を感じて対応する姿、役になりきってあそび込める姿がたくさん見られました。

9月も色々な想定をした『ごっこ』あそびや体を思いっきり使った粗大運動あそび、気持ちいい季節となる『秋』探しに、戸外さんぽへも出かけたいと思います。

放課後等デイサービス

2つの活動の一場面です。『プラ板キーホルダー制作』を楽しみました。登所して夏休みの宿題を済ませ、一人で夢中に取り組んだり、友だちを誘って隣どうし並んで座り、お互いの様子を確認しながら、その時間を共有していました。パソコンでイラストを検索する前に、紙に好きなキャラクターのキーワードを書いて、そして検索。活動を重ねていくたびに色々な必要な段取りがスムーズになっていきました。印刷した画像の上にプラ板を置いて、ズレないように慎重に、丁寧に、気持ちを込めて描き込んでいます。出来上がったプラ板を手にした表情は達成感と得意顔と、とてもいい表情を届けてもらいました。

もう1つは、『室内スポンジボール野球』です。危険な暑さが続く中、戸外には行けず、でも体を動かしたい・野球がしたい気持ちでいっぱいでした。そこで、1階の手前の空間が野球場になりました。小さな球場ですが、大きさは関係ありません。どんなシチュエーションでも野球です。ちょうど高校野球が開催されていた時期で、ご自身と重ねて楽しんでいたようです。

『してみたい』『やってみたい』『挑戦してみようかな』という気持ちを大切にし、色々な状況が整えば可能な限り、環境等の工夫も子ども達と一緒に相談しながら、取り組んでいきたいと思います。

気持ち良い季節に変わる9月…。戸外活動も取り入れながら、室内での『静』の活動、戸外や体を使う『動』の活動、一人でじっくり取り組む時間、他者と一緒にあそびを共有しながら取り組む時間…、バランスを取りながら一人ひとり、大人も一緒に充実したぽぽデイの時間になるようにしていきたいと思います。

３日（土）　第１土曜日活動　　17日（土）　第３土曜日活動
30日（金）　安全点検日

スタッフの一言

至福の時間…。知人から頂いたり、フリマで出会ったりして、軟式野球のグローブが1チーム分程自宅にあります。もちろんキャッチャーミット、ファーストミット…全ポジションあります。そんな、グローブを息子や妻が寝静まったあとに、手にはめて『パコッ パコッ パコッ』と眺める時間がほっとする時間です。ちなみに野球部経験はないですが、草野球歴が30年近くになりました。出番を待つ、グローブ達との貴重な時間です…。　井野口

最近、お腹が出てきて、太ってきたのでダイエットを始めています。お米を減らしたり、おやつ代わりにナッツを食べたりと、テレビやインターネットで見たものをあれこれ試していますが、ナッツの食べすぎか、全然やせません。こどもたちがぽぽデイにくると「きむらさ～ん、と言ってお腹をポンポン叩いてくれます。」子ども達が喜んで来てくれるなら、やせなくてもいいかなと思い始めた今日この頃です。　木村